

下線部が 2021 年 1 月 5 日午後 2 時時点の情報更新です。

2020 年 12 月 31 日
西日本旅客鉄道株式会社

停車ブレーキ中にドアが開いた件（12/30 発生）について（情報更新）

本事象は 12 月 31 日（木）に運輸安全委員会から「重大インシデント」に認定されております。ご利用のお客様及び関係者の皆様には、ご心配並びにご迷惑をおかけしておりますことを改めてお詫び申し上げます。現在、詳細に関しましては運輸安全委員会の調査中となっております。今後、運輸安全委員会の調査に全面的に協力しながら、当社としても原因を究明し、対策を実施してまいります。

- 1 発生日時 2020年12月30日（水） 午後7時00分頃
- 2 場 所 山口線 本俣賀駅
- 3 列 車 上り普通列車 2556D（ワンマン） 1両編成 お客様：7名
益田駅（午後6時55分）発 山口駅（午後8時44分）着
- 4 概 況 上記列車運転士は本俣賀駅に停車するブレーキを扱っている際、「戸ジメ表示灯」が消灯したのを認めました。停車後、直ちにドアの確認を行ったところ、進行方向右側の後ろ側のドア（ホームと反対側）が開いているのを認め、転落、お怪我をされたお客様がおられないことを確認しました。
その後、当該のドアを施錠して締切りにして本俣賀駅を9分遅れて発車しました。

※お客様に転落・お怪我等はありません。

※本俣賀駅での乗降はありません。

※「戸ジメ表示灯」とは、ドアが開くと消灯し、ドアが閉まると点灯する装置です。

- 5 原 因 戸閉装置からエア漏れが発生しておりましたが、原因については、現在調査中です。

- 6 当面の対策 12月31日以降、当社の全ての同種車両（キハ40・47形）の緊急点検を行い、当該車両以外に異常がないことを確認しております。また、車両関係区所で検修社員が定期的に行う車両検査や、乗務員が日々行う点検をより入念に行います。